

湯浅町の結果について

湯浅町教育委員会

平成29年4月18日(火)、全国の小学6年生・中学3年生を対象に学力・学習状況調査が行われ、町内のすべての小・中学校が参加しました。本調査の結果から、湯浅町における学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。平成29年8月

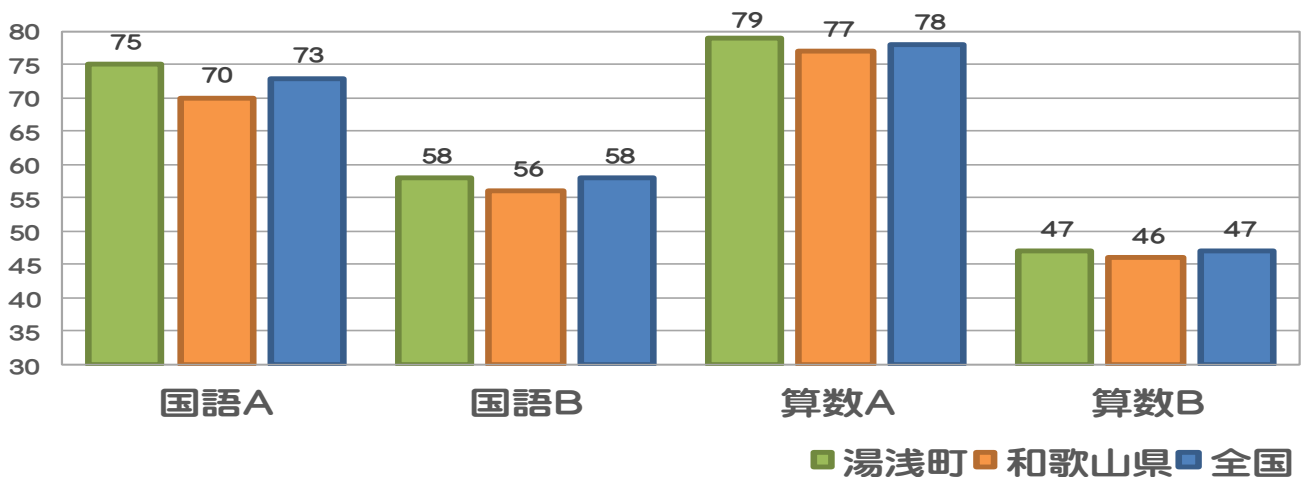
「国語」、「算数・数学」のA問題とB問題について

A問題＝主として「知識」に関して、基礎的・基本的な力がどれくらい身に付いているのかをみる問題です。

B問題＝主として「活用」に関して、学習した内容を実生活の中で活用する力がどれくらい身に付いているのかをみる問題です。

小学6年生 「国語」「算数」の結果から

全体の傾向



全国、和歌山県の平均正答率と比べて、国語A、算数Aの結果で上回っています。国語B、算数Bでは、全国の平均正答率とほぼ同じです。すべての教科で無回答率が全国と比べて低く、粘り強く取り組むことができ、着実に学力も身につけてきている一方で、国語における「話すこと・聞くこと」や「書くこと」で課題がみられる箇所もあります。

「国語」の傾向

	国語A	国語B
関心・意欲・態度		1.2
話す・聞く能力	2.0	▼-3.9
書く能力	▼-7.0	0.2
読む能力	-0.3	◎6.3
知識・理解・技能	◎4.8	

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

◎A問題では、「ひらがなの表記をローマ字で書く」など「言語についての知識・理解・技能」の問題でよい結果が表れています。

▼A問題では、「目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること」には、課題がみられます。問題文の内容の違いや、読むべき資料の選択というところで課題がみられます。

◎B問題では「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを整理しながら読む」など「読むこと」の問題でよい結果が表れています。

▼B問題では、「目的に応じて質問したことを整理すること」や「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問すること」に課題がみられます。「話の展開に応じて」「相手の発言を受けて」話す、というところで課題がみられます。

「算数」の傾向

	算数A	算数B
関心・意欲・態度		
数学的な考え方		-1.3
技能	2.6	0.7
知識・理解	1.1	1.3

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

◎A問題では、小数のわり算の商の大きさなどの「数と計算」、「縦にかくことができる正方形の数を探し、かくことができる理由を書く」などの「図形」など「数量や図形についての技能」でよい結果が表れています。

▼B問題では、「示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定する」「グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述する」など、「数学的な考え方」の問題で課題がみられます。

「国語」の学習指導に当たって

「目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること」に課題がみられました。パンフレット作りや作文等の「書く活動」において、課題意識や、目的・意図をしっかりともったうえで内容を考え、書くことができるような指導の充実を図ります。

また、「目的に応じて質問したいことを整理する」「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」ことに課題がみられました。授業ではペアやグループ、学級全体で話し合う機会が多いですが、そうした「話す・聞く」活動の中で、相手が言ったことを受けて自分の発言を積み重ねたり、話し合っている内容や展開をきちんと意識しながら質問ができるような指導の充実を図ります。

「読むこと」については、全体的な内容の理解とともに、一つ一つの言葉に注目してじっくり読むことができるような指導の充実を図ります。

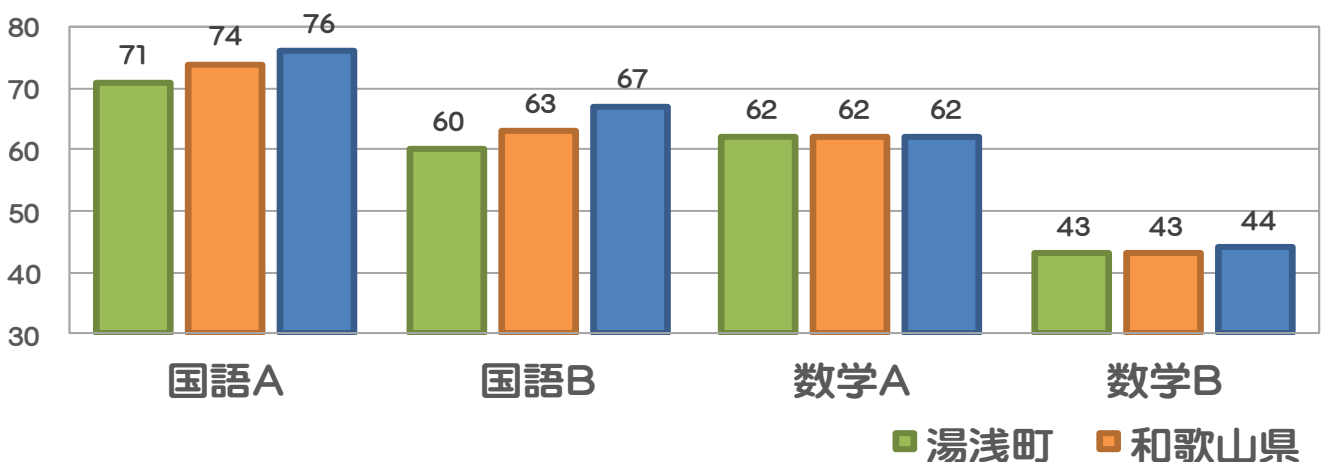
「算数」の学習指導に当たって

「示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定する」「グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述する」ことに課題がみられました。授業における課題解決の過程で、解決のための考え方の中で、正しい考え方だけではなく、「考えられないこと」や「はっきりと違うと言えること」にも目を向け、その根拠を明らかにできるような指導の充実を図ります。

また、「1を超える割合を百分率で表す場面における基準量と比較量の関係の理解」「全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味の理解」に課題がみられました。「基準量」や「比較量」を基にした「割合」の意味を、算数的な活動を通して実感的に理解できるような指導の充実を図ります。

中学3年生 「国語」「数学」の結果から

全体の傾向



全国や和歌山県の平均正答率と比べて、国語A・Bは下回っています。また、数学A・Bでは、ほぼ同じになっています。無回答率が全国に比べてかなり低く、最後まで粘り強く取り組んでいる様子が見えますが、学力面において、数学では基礎的な学力の定着がみられますが、国語については課題がみられます。

「国語」の傾向

	国語A	国語B
関心・意欲・態度		-2.7
話す・聞く能力	-2.9	0
書く能力	-0.2	-2.7
読む能力	▼-5.7	▼-6.1
知識・理解・技能	▼-5.6	

▼A問題では、「文脈に即して漢字を正しく書く・読む」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」「文の成分の照応について理解する」などの「言語についての知識・理解・技能」の問題、及び「文章について説明したものとして適切なものを選択する」などの「読むこと」の問題で、とくに課題がみられます。

▼B問題では、「文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨をとらえる」「目的に応じて必要な情報を読み取る」「本や文章から適切な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」など「読むこと」の問題にとくに課題がみられます。

「数学」の傾向

	数学A	数学B
関心・意欲・態度		
数学的な考え方		-0.7
技能	-0.5	-0.6
知識・理解	-0.5	

◎A問題では、「数学的な技能」について「基礎的な計算」や「ひし形の対角線の交わり方」など、「数量や図形についての知識・理解」については「円錐の体積の理解」「多角形の外角の和」「最頻値を求める」などの問題で、よい結果が表れています。

▼一方で、同じ「数学的な技能」について「比例式をつくる」「対称移動した図形をかく」など、「数量や図形についての知識・理解」についても「『同様に確からしい』ことの意味」「一次関数の変化の割合を求める」などの問題で、課題がみられます。

◎B問題では、「資料の活用」において、「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」問題でよい結果が表れています。

▼一方で、「関数」において、「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」問題では課題がみられます。

「国語」の学習指導に当たって

国語でも、数学でも、「記述式」の解答をする問題に抵抗なく、最後まで粘り強く取り組むことができたことがうかがえました。国語でも、「書くこと」の問題においては、全国平均正答率とほぼ同じでした。

しかし、特に「言語に関する知識・理解・技能」及び「読むこと」について課題がみられました。「読むこと」では、選択肢の中から適切な解答を選ぶ問題で、「選択肢の中の一つ一つの言葉に注目し、問題文の中にある言葉との整合性を考え、正しいものと正しくないものを読み分ける」といったこと、記述式で解答する問題で、「チラシや雑誌記事のように、写真や図、ちょっとした文章等が組み合わされているものから必要な情報を読み取り、選択して解答する」といったことに課題がみられました。

語彙力を伸ばすなど基礎的なことの徹底を図るとともに、様々な資料に触れながら、言葉の一つ一つに注目し、自分の考えを他の人に話したり、文章に書いたりしながら、新たな気付きや問題意識を明らかにするような指導を図ります。

「数学」の学習指導に当たって

数学では、同じ「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」という観点において、「資料を活用する」問題、「関数」の問題、といった内容の違いによって結果に差が出ました。

これらの問題を比較すると、「資料を活用する」では、グラフなどの資料の情報を見て内容を理解し、数学的に表現することは得意な反面、「関数」では文章を読んで内容を理解し、答えを求めるといったことへの苦手さが表れています。国語で大きな課題としてみられた「読むこと」が、数学でも表れたという結果です。

そこで、国語科だけに限らず、数学科においても、文章の内容を実生活と結び付けるなど生徒が内容を理解しやすいような工夫をするとともに、文章から必要な情報を適切に選択できるように、数学科においても(さらには、他の教科においても)一つ一つの言葉や、グラフ・文章・絵・図形などが組み合わされた資料を読み取る力が身に付けることができるような指導を図ります。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活等のいろいろなことをアンケート形式で答える質問です。

(例えば) 国語の授業は好きですか、授業の内容はどのくらい分かります、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など



質問紙調査の結果から

「小学6年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	82.2	76.1	◎6.1
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	62.4	51.7	◎10.7
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	99.0	92.7	◎6.3
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。*2時間以上の割合	11.9	10.4	▼1.5
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。*2時間以上の割合	36.6	29.7	▼6.9
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。*全くしない割合	37.6	20.6	▼17.0
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。*全くしない割合	19.8	10.2	▼9.6
家で、学校の授業の予習をしていますか。	36.6	43.3	▼6.7
家で、学校の授業の復習をしていますか。	66.4	55.2	◎11.2

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

「中学3年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	46.2	50.2	▼4.0
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	89.8	93.0	▼3.2
「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出た時に役立つと思いますか。	75.2	72.8	◎2.4
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。	39.3	30.1	▼9.2
	*2時間以上の割合		
	*4時間以上の割合		
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。*1時間以上の割合	71.8	67.9	◎3.9
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。*全くしない割合	18.8	11.0	▼7.8
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。*全くしない割合	46.2	37.2	▼9.0

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

自主性・協調性について

「失敗を恐れずに挑戦する」「友達の前で自分の考えを発表するのが好き」「友達の話や意見を最後まで聞く」について全国平均を大きく上回り、これからの学習に必要な基礎的な力が身に付いてきています。

家庭での過ごし方について

「スマートフォン」や「テレビゲーム」をすることについて平日、「2時間以上する」割合が全国平均と比べて上回っています。学習については「家で授業の予習をする」については下回っていますが、「家で授業の復習をしている」については10ポイント以上上回っており、自主的な学習が進んでいる様子が見られます。一方で、読書の時間や休日の勉強時間については全国平均よりも大きく下回っています。

テレビゲームやスマートフォン等の家庭でのルール作りや家庭学習の習慣化等、さらに改善・向上させていく必要があります。

自主性・協調性について

「自分の考えや意見を発表する」「友達の意見を聞く」について全国平均をやや下回っていますが、「当てはまらない」と答えた割合は低くなっています。「総合的な学習の時間」への意識を含め、全体的に自主的に学習に向かっている姿勢が見られます。

家庭での過ごし方について

「平日の勉強時間」については全国平均を上回っており、塾などを含めると、普段から勉強に励んでいる様子が見られます。しかし、「休日、1日当たりどれくらいの時間、勉強するか」「平日どれくらい読書するか」について、「全くしない」と回答した割合が全国平均と比べるとかなり下回っています。また、スマートフォン等の使用時間の長さについて課題が見られます。

学習計画や家庭で過ごす時間の使い方について、目的意識を持って改善していく必要があります。